

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	ホースカーでホース延長中、前と後ろの隊員の呼吸が合わず、前の隊員が転倒しそうになった事例
3. 体験した事例の中心的要素	狭隘道路で消火栓部署したため、ホースカーでホース延長する際、ポンプ車と民家の間がせまく、ホースカーが通過するのがギリギリであり、少し段差もあった。そのため隊員が前と後ろからホースカーを慎重に確認しながら通過する時、後ろの隊員が段差を越すのに力を入れて押したため、段差を乗り越えたのと同時に前の隊員が転倒しそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none"><li>段差があるにもかかわらず後ろの隊員が力を入れて押した。(ホースカーを少し持ち上げれば簡単に段差を乗り越えることができた)</li><li>前と後ろの隊員は普段一緒に勤務している隊員でなかった。(その日の1名は他の出張所からの応援隊員で呼吸があわなかつた。)</li></ul>

#### 【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

### 【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 21 年 6 月 7 日 午後 6 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：一般道路上
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	転倒、
7. 事例体験時の活動	火災現場到着、 [ 耐火造建物、 ]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	ホース延長、
9. 同様の体験は、これまでにどの 程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

#### 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[ 26 ]歳、 勤続年数[ 2 ]年、 現場経験年数[ 2 ]年、 階級[ 消防士 ]、 同様の活動 [ 1年に数度 ]、 任務 [ 隊員 ]
○当事者B	年齢[ 54 ]歳、 勤続年数[ 35 ]年、 現場経験年数[ 35 ]年、 階級[ 消防士長 ]、 同様の活動 [ 1年に数度 ]、 任務 [ 隊員 ]
○当事者C	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、 同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

## 11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	Aと B	狭隘道路をホースカーにてホース延長中	
経過 2	B	ホースカーの前方を引っぱり	
経過 3	A	ホースカーの後方から押していた	
経過 4	Aと B	ポンプ車と民家の間を通り抜けようとした際、	
経過 5	Aと B	ホースカーの幅ギリギリであり、段差があった。	
経過 6	A	段差を越すため力を入れて押した	
経過 7	B	ホースカーが段差を超えたと同時に転倒しそうになった。	
経過 8			
経過 9			
経過 10			

#### 【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots arranged in a single row.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。周囲の視界が確保できていた。足元の安全が確保できていた。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 はい
  - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 いいえ
  - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 はい

b. 注意力が欠如していた

- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
  - ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。
  - ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあつた。	いいえ
・指示内容が実施困難であつた。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

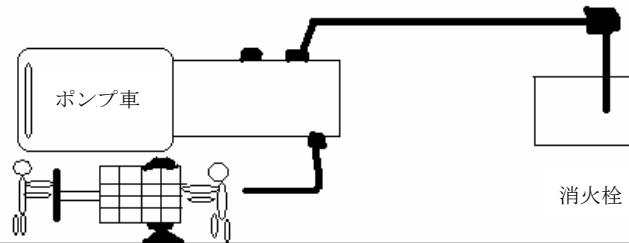
・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

いいえ
-----

民家



民家

民家

段差